

研究室彙報

眞宗學研究室

△眞宗學會

○十二月八日(木曜)正午より洗心寮内洗心閣にて

故本多・住田・小島三教授、並びに戰死せられたる土

屋・家見兩會員の追悼會を開催

出席者 大須賀學長・安井主任・加藤・可西・源・日

下・稻葉・正親・岸の諸教授、椿井・本多氏・久保田

藤原兩副手及び學生多數

○十二月十六日 今學期中に出版頒布の豫定であつた眞

宗學會々報、漸やく稿集り編輯なつて、本日印刷に廻す

來學期早々頒分の豫定。

○十二月廿四日(土曜) 明日より休暇につき本日をして

閉室。

佛敎學研究室

△大乘佛敎學會

○例會

日時 十一月十四日午後三時より

講師 稻葉圓成教授

演題 天台の佛性論

出席者 加藤・西尾・道端・横川諸教授他學生二十名

△印度佛敎學會

○例會

日時 十一月八日午後三時より 於第十一教室

講師 西尾京雄教授

演題 世親遺解深密經疏に就て

出席者 舟橋教授・研究科佐々木・春日井兩君他學生

數名

△佛敎史學會

○例會

日時 十二月八日 午後三時より 於第十一教室

講師 奥村 享君

演題 神葬祭問題の發展と僧侶の反駁

出席者 松本・徳重・日下・泉・藤島・道端の諸教授

及宮田助手(人文學第一研究室)他學生十數名

哲學研究室

△社會學會

○例會

日時 十一月九日 午後三時より 於第十一教室

講師 學部三回 坂本 隆君

演題 少年不良化に對する家庭關係の意義

出席者 山口正・福井兩教授研究科池田氏他學生十數名

○例會

日時 十一月三十日 午後二時より 於第十一教室

講師 學部三回 江畑多助君

演題 勞働奉仕に就て

出席者 福井教授他學生十數名

人文學研究室(第二)

△國史研究室

○柘本講習會

日時 十月二十九日

講師 木村捷三郎氏

○例會

日時 十二月十四日 午後三時 於第十一教室

講師 堂谷憲勇氏

演題 周繼雪村の藝術に就て

出席者 徳重・大庭・藤島三教授宮田助手松浦・柳山

先輩他學生二十名

△國史研究會「平曲」を聴く會

△國文學會

十一月十九日午後二時より枳殼邸に於て冷泉伯爵家に傳はる平家琵琶を聴く。曲日、月兒(舊都の月)時間、約四十分。

△國文學會

○例會

日時 十一月二十四日 午後三時 於第十一教室

講師 清水 泰教授

演題 「大和詞」に就いて

出席者 龜田教授雨宮助手他學生全員

○例會

日時 十二月十七日 午後一時 於第十一教室

講師 學三 上杉了玄君

演題 近松作品攷

出席者 龜田・清水兩教授雨宮助手他學生全員

人文學研究室 (第二)

△東洋史學會

○第五回例會

日時 十一月二十五日午後三時 於第十一教室

講師 野上俊靜教授

演題 遼代邑會攷

出席者 道端教授他學生十名

演題内容に就ては本號に掲載の論文を見られたし。

○第六回例會

日時 十二月十六日午後三時 於第十一教室

講師 鴛淵 一氏

演題 清初に於ける八旗に就て

出席者 道端・野上・藤田諸教授他學生八名

例會後河原町四條不二家にて出席者一同晚餐を共にす。

△支那學會

○例會

日時 十二月十六日午後三時 於第三教室

講師 學三 村山淳宏君

演題 宋代の話本について

出席者 湯淺・本田・上村諸教授他學生全員

研究室彙報

宋代小説勃興の原因並に其狀況に就き略述し、次いで現存宋代話本と其の後世への影響に就いて説明す。

寄贈交換圖書雜誌目錄 (自昭和十三年五月至十二月)

龍谷學報	三二・三三	龍谷大學論叢社
大 乘	一九七・一九八・一九九・二〇〇・二〇一	大 乘 社
	二〇二・二〇三・二〇四	
理想	八五・八六・八七・八八・八九・九〇・九一	理想社
大 東	三四・七・八・九・一〇・一一	東亞協會
大崎學報	九二・九三	立正大學宗學研究室
密教研究	六六・六七	高野山大學密教研究會
宗學研究	一五・一六	大谷派本願寺宗學院
史 學	一七〇・一・二	慶應義塾三田史學會
基督教研究	一六〇・一	同志社神學科
立命館文學	五〇・三・四・五	立命館出版部
宗學院論輯	二六・二七	本願寺宗學院論輯發行所
國民精神文化	四〇・一・二・三・四	國民精神文化研究所
ヒ ヌカ	六〇・八・九・一〇	大藏出版株式會社
青丘學叢	二九	青丘學會